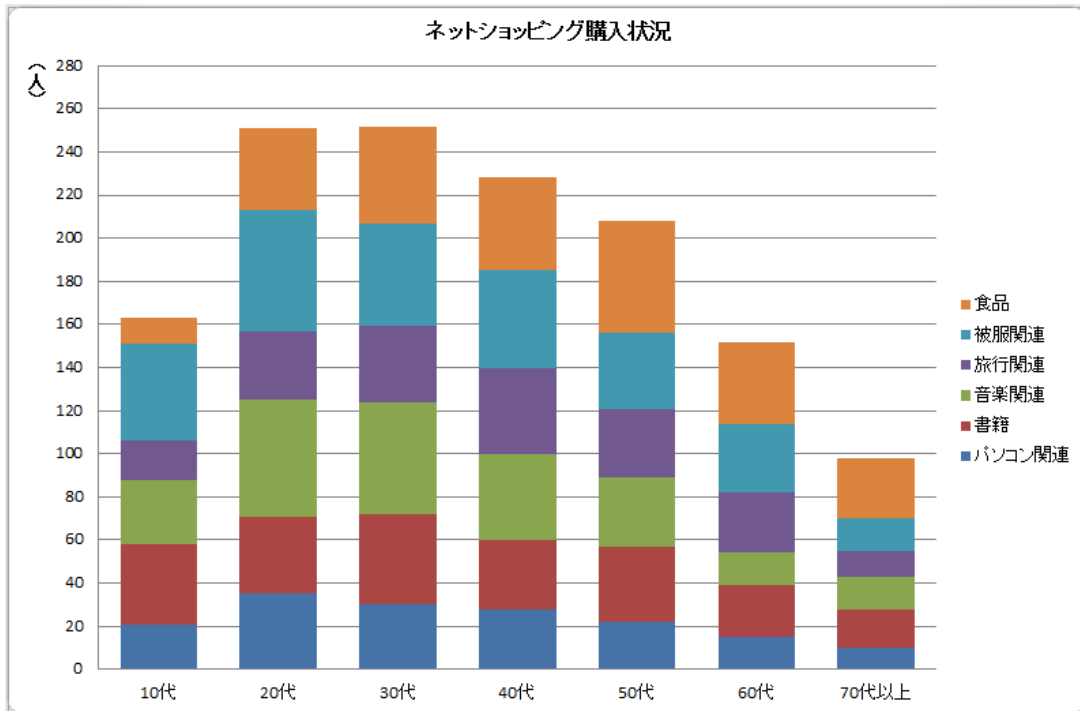


第4章 グラフ作成

1. 棒グラフの作成

別紙 Excel 2013 対応—p3 参照

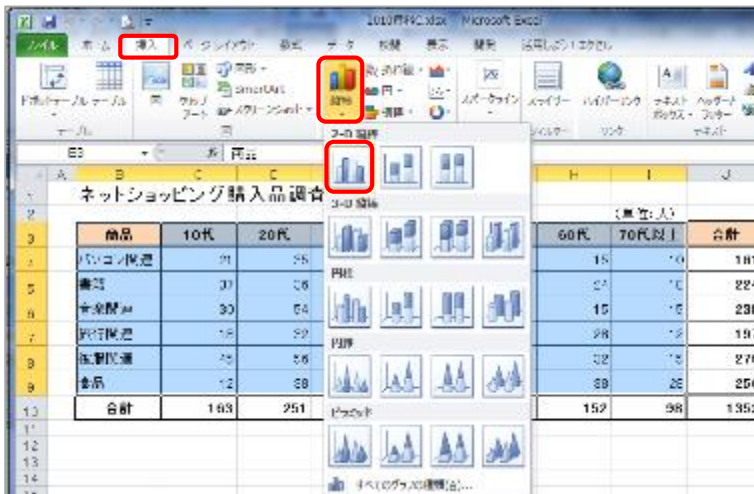
表のデータをもとに「ネットショッピング購入状況」を表す棒グラフを作成しましょう。



「2010 資料 C」を開いておきましょう。

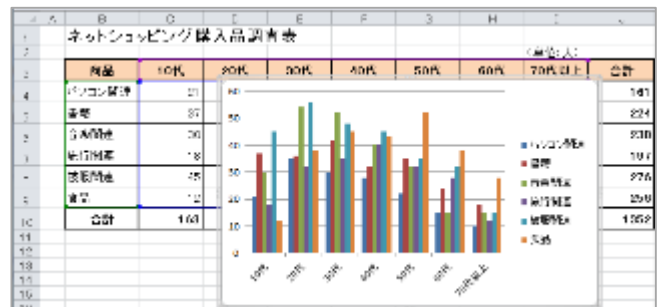
1) 棒グラフの作成

グラフを作成する場合は、まず、グラフのもとになるセル範囲を選択します。





① セル範囲【B3:I9】を選択します→《挿入》タブをクリック→《グラフ》グループの《縦棒》をクリック→《集合縦棒》をクリックします。

② 縦棒グラフが作成され、リボンに《グラフツール》が表示されます。

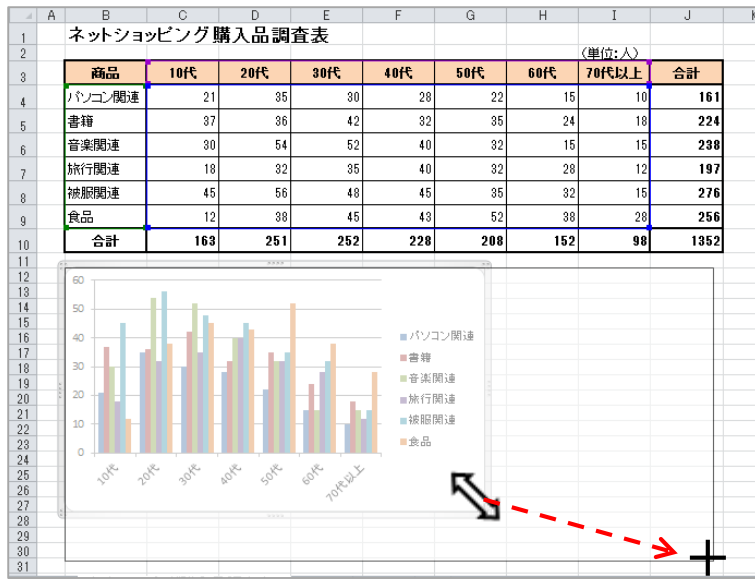


2) グラフの移動

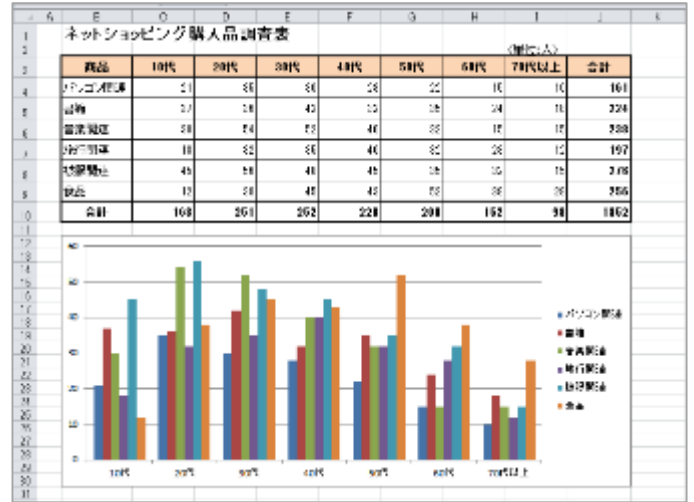
グラフを移動する時は、グラフエリアをポイントし、マウスポインターが  に変わったら任意の位置にドラッグします。ドラッグ中は、マウスポインターが  になります。

3) 大きさの調節

グラフ枠の上下左右の中央、または四隅でマウスポインターが \leftrightarrow に変わる位置をドラッグします。ドラッグ中は、マウスポインターが $+$ になり、大きさを表す枠が表示されます。



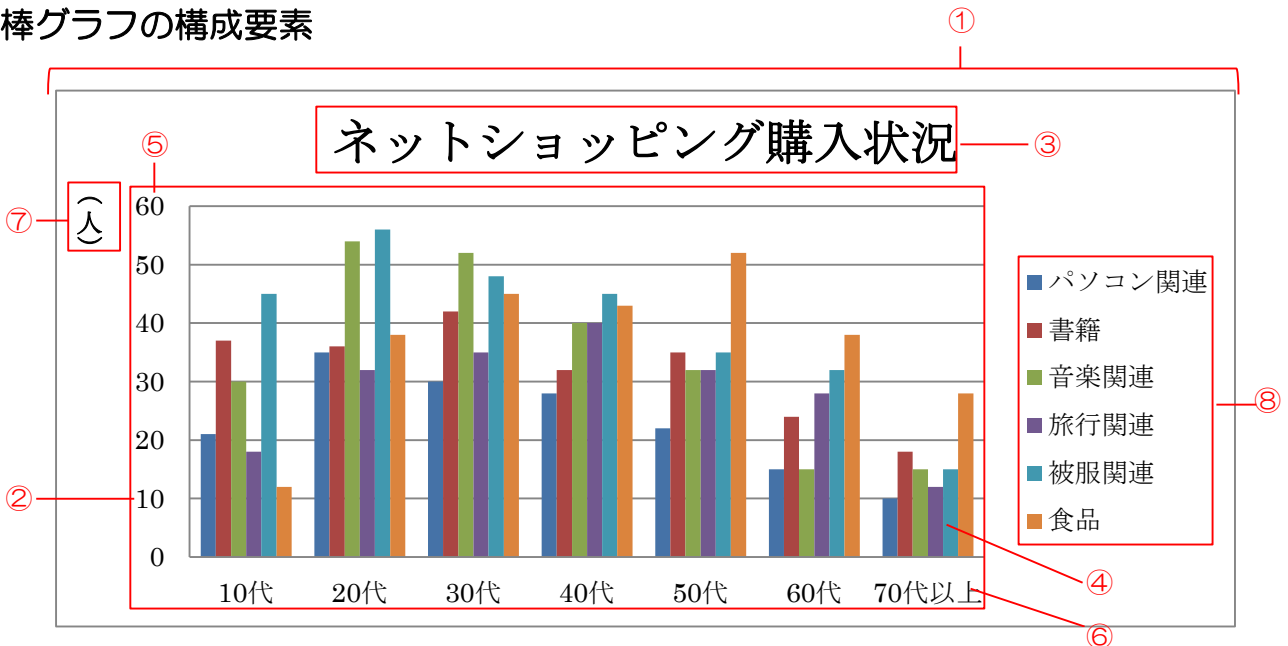
<練習> グラフの大きさを調節して、セル範囲【B12:J30】に表示しましょう。



参考 グラフの配置

[Alt]キーを押しながら、グラフの移動やサイズ変更を行うとセルの枠線に合わせて配置することができます。

2. 棒グラフの構成要素



① グラフエリア

グラフ全体の領域です。すべての要素が含まれます。

② プロットエリア

グラフの領域です。

③ グラフタイトル

グラフのタイトルです。

④ データ系列

もともになる数値を視覚的に表すものです。

⑤ 値軸

データ系列の数値を表す軸です。

⑥ 項目軸

データ系列の項目を表す軸です。

⑦ 軸ラベル

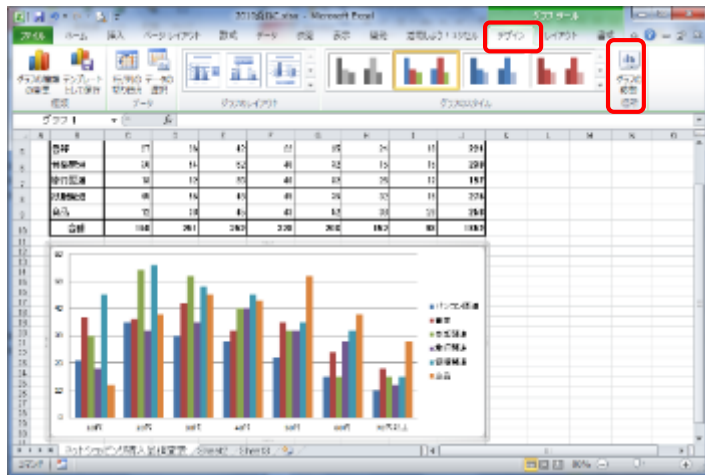
軸を説明する文字列です。

⑧ 凡例

データ系列に割り当てられた色の説明です。

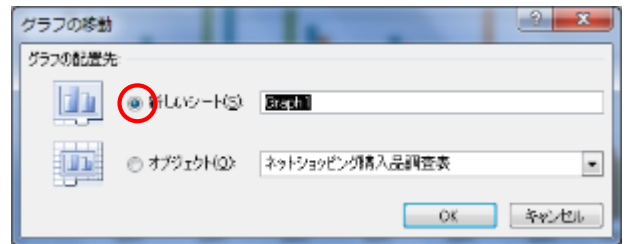
3. グラフの場所の変更

シート上に作成したグラフを、グラフ専用シート《グラフシート》に移動できます。
 グラフシートをグラフシートに移動しましょう。

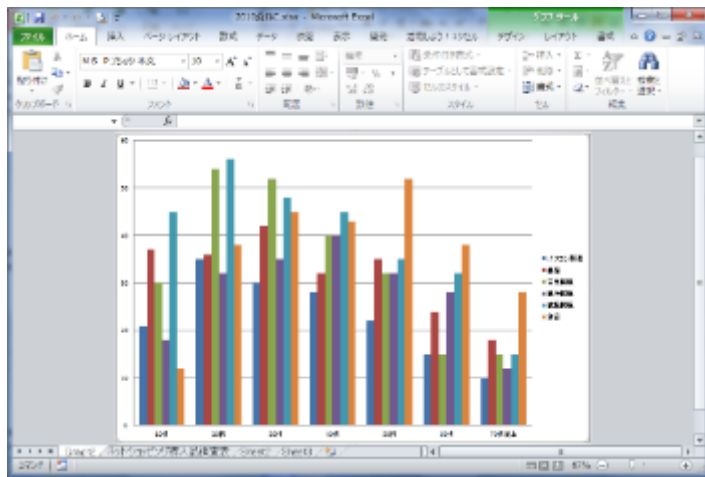


- ① グラフを選択します（グラフエリアをクリック）
 →《デザイン》タブをクリック

- ② 《場所》グループの《グラフの移動》をクリック→《グラフの移動》のダイアログボックスが表示されます。

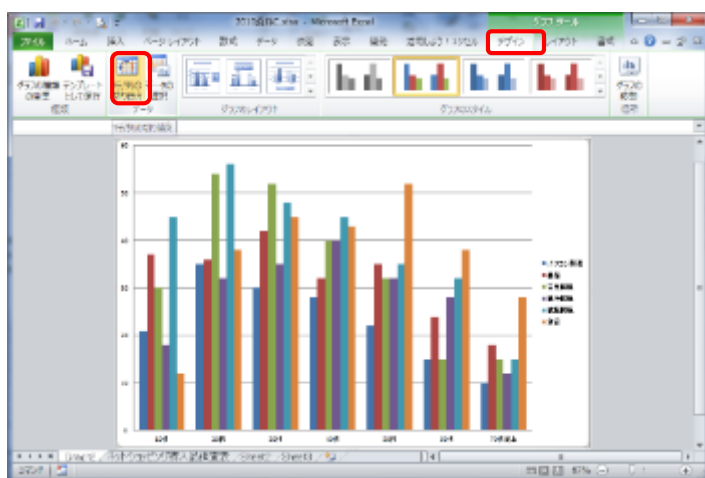


- ③ 《新しいシート》の○をクリック→《OK》をクリック→シート「Graph1」が挿入され、グラフの場所が移動します。



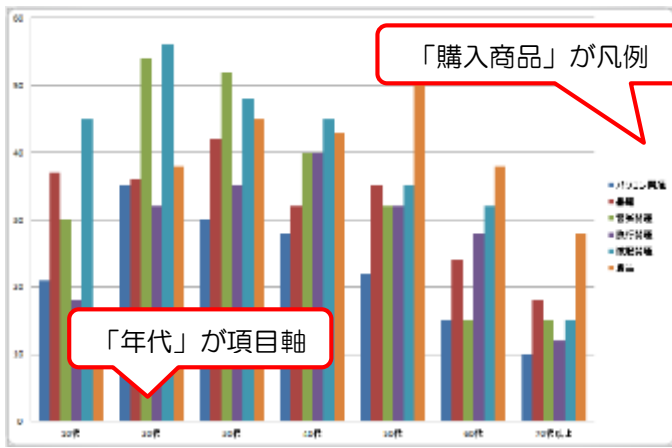
4. 行／列の切り替え

もとになるセル範囲のうち、行の項目を基準にするか、列の項目を基準にするか選ぶことができます。

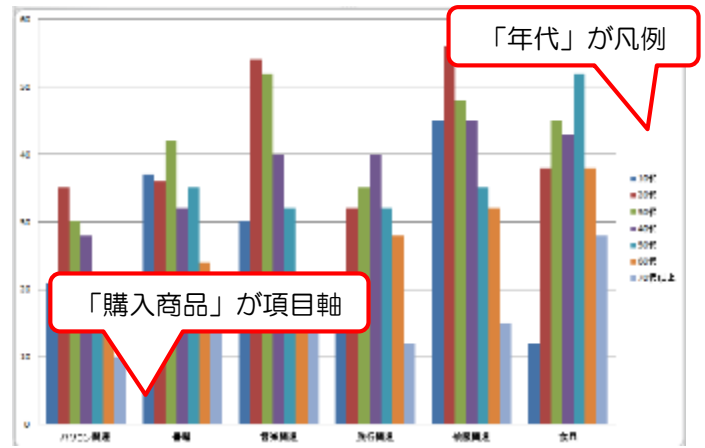


- ① グラフを選択します。
- ② 《デザイン》タブの《データ》グループの《行/列の切り替え》をクリック→項目軸と凡例の項目が入れ替わります。

「年代」を基準にする



「購入商品」を基準にする

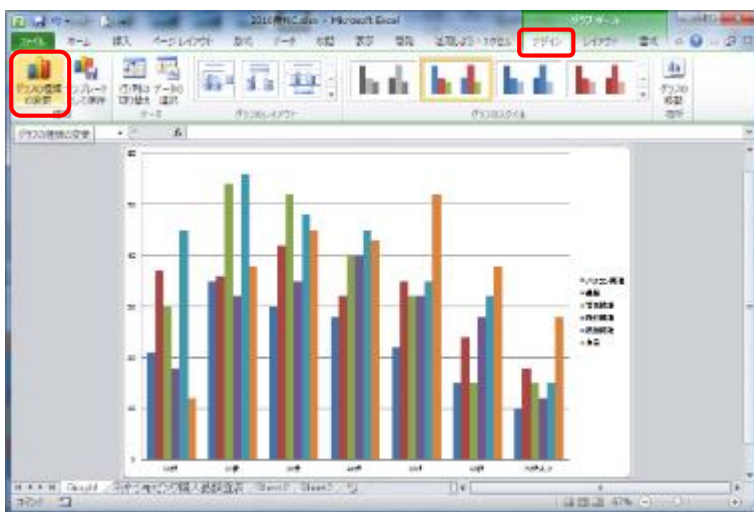


※ 「年代」を基準にしたグラフに戻しておきましょう。

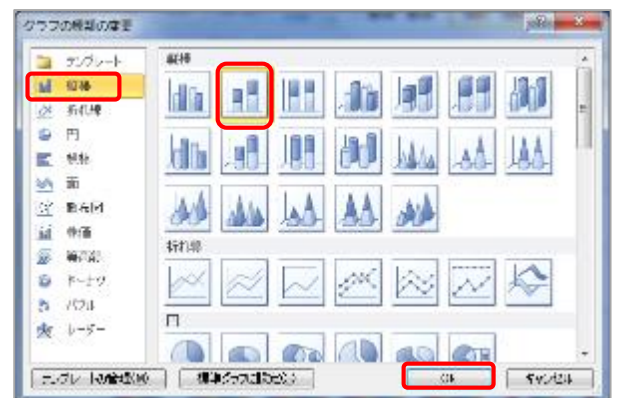
5. グラフの種類の変更 ⇒ 別紙 Excel 2013 対応-p3 参照

グラフを作成した後で、グラフの種類を変更することができます。

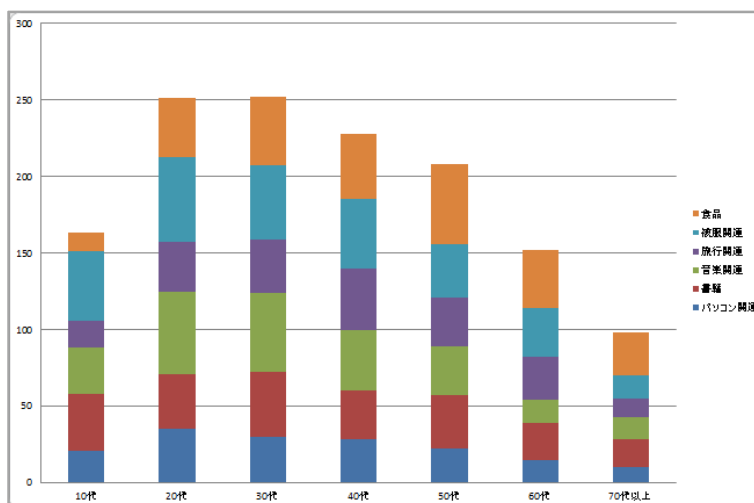
グラフの種類を「積み上げ縦棒」に変更しましょう。



- ① 《デザイン》タブの《種類》グループの《グラフの種類の変更》をクリック→《グラフの種類の変更》のダイアログボックスが表示されます。



- ② 左側の一覧から《縦棒》が選択されていることを確認
- ③ 右側の一覧から《積み上げ縦棒》をクリックします→《OK》をクリック
- ④ グラフの種類が変更されます。

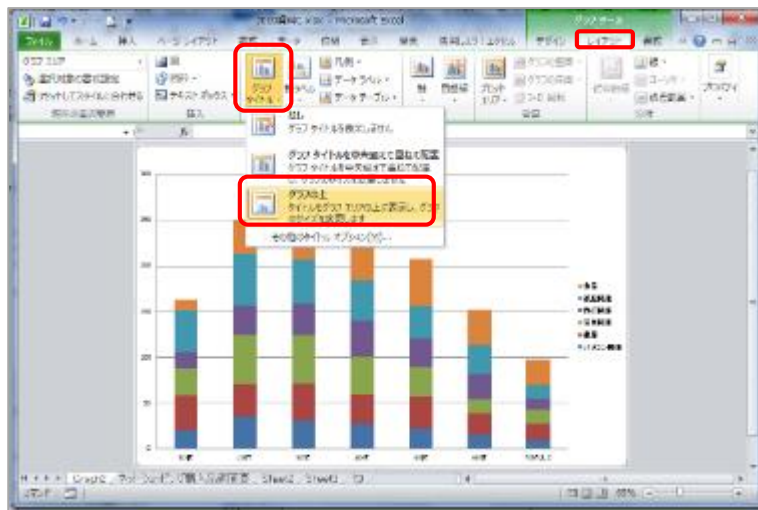


6. グラフ要素の表示

グラフには、グラフタイトル、軸ラベル、凡例、データラベル、データテーブルを表示することができます。

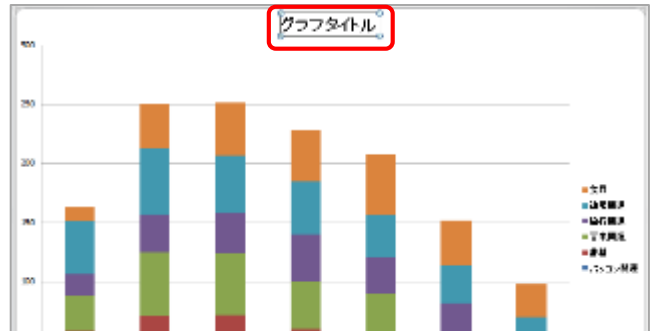
1) グラフタイトルの表示

グラフの上に、グラフタイトルを表示しましょう。

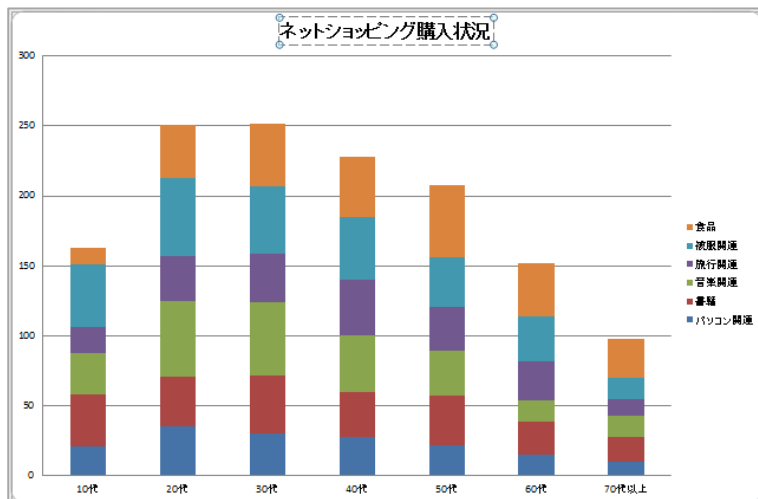


- ① グラフを選択します→《レイアウト》タブをクリック→《ラベル》グループの《グラフタイトル》をクリック→《グラフの上》をクリックします。

- ② グラフタイトルが表示されます。



- ③ 《グラフタイトル》を再度クリックし、「グラフタイトル」の文字を削除→「ネットショッピング購入状況」と入力します。
- ④ グラフタイトル以外の場所をクリック→グラフタイトルが確定します。



※ グラフタイトル入力後 **Enter** キーを押すとグラフタイトルの中で改行されます。

2) 軸ラベルの表示 別紙 Excel 2013 対応-p3 参照

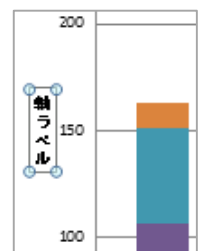
値軸の軸ラベルを表示しましょう。

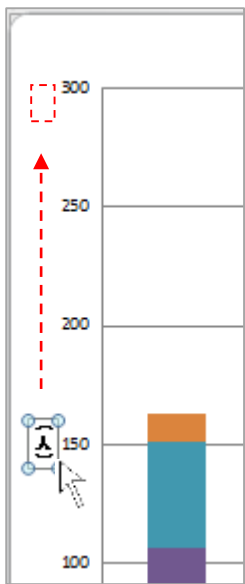




- ① グラフを選択→《ラベル》グループの《軸ラベル》をクリックします。

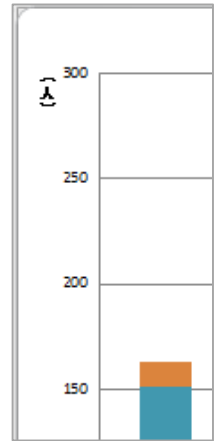
- ② 《主縦軸ラベル》をポイントし、《軸ラベルを垂直に配置》をクリック→軸ラベルが表示されます。

- ③ 軸ラベルが選択されていることを確認して軸ラベルをクリックするとカーソルが表示されます。



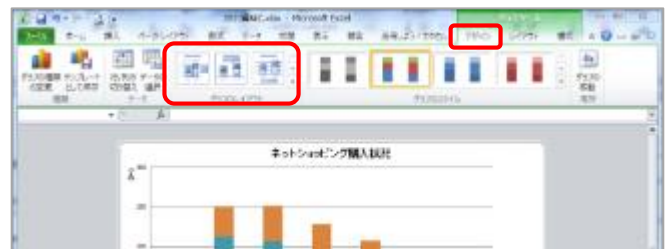


- ④ ≪軸ラベル≫の「軸ラベル」と入力されている文字を削除し、「(人)」と入力します。
- ⑤ 軸ラベル以外の場所をクリック→軸ラベルが確定します。
- ⑥ 軸ラベルをクリックして選択→軸ラベルの枠線をポイントし、マウスポインターが  に変わったらドラッグして任意の位置に移動→移動中はマウスポインターが  に変わります。



参考 グラフレイアウト

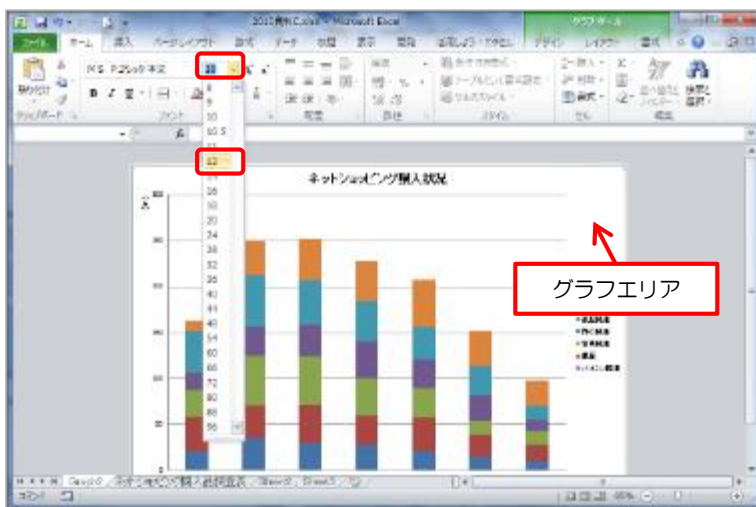
≪デザイン≫タブの≪グラフレイアウト≫の一覧から、スタイルを選択してグラフ要素を表示することもできます。



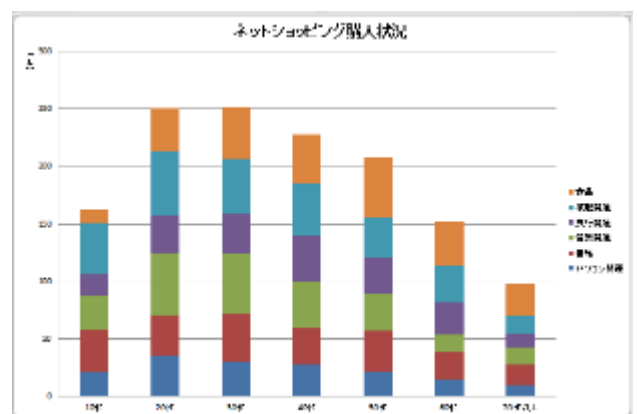
7. グラフ要素の書式設定

1) グラフエリアの書式設定

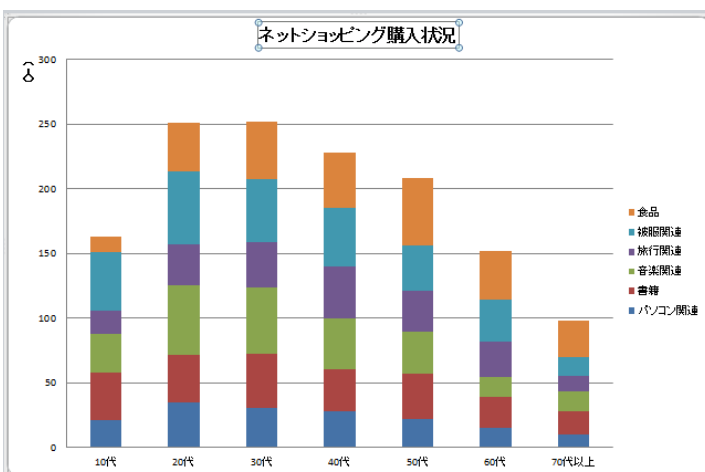
グラフエリアのフォントサイズを 12 ポイントに変更しましょう。



- ① グラフエリアを選択（クリック）→≪ホーム≫タブをクリックします。
- ② ≪フォント≫グループの **10** ≪フォントサイズ≫の▼をクリックし、一覧から「12」を選択します。
- ③ グラフエリアのフォントサイズが変更されます。



<練習> グラフタイトルのフォントサイズを「18」ポイントに変更しましょう。



参考 ミニツールバー

書式設定をする対象を右クリックすると、ショートカットメニューとミニツールバーが表示されます。

ミニツールバーで、フォント・フォントサイズ・塗りつぶしの色・枠線・文字揃えなどを設定することもできます。



2) 凡例の書式設定 別紙 Excel 2013 対応-p5 参照

凡例に枠線を付けましょう。

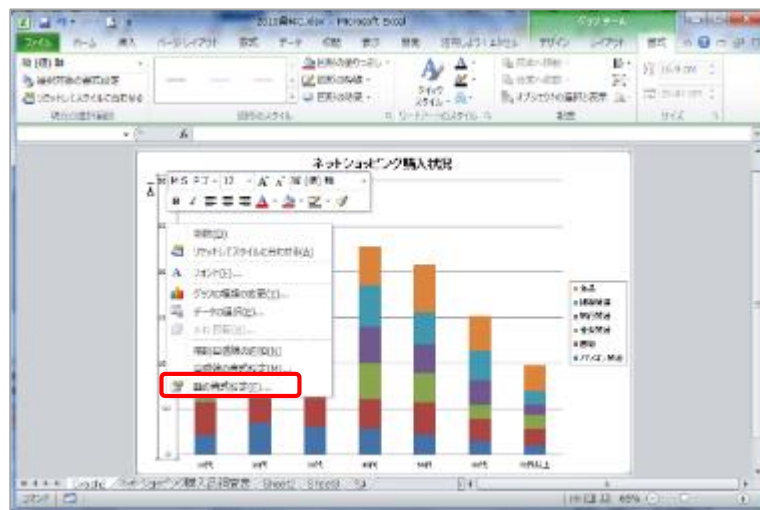


- ① 凡例をクリック→凡例が選択されます。
- ② ≪書式≫タブをクリック→≪図形のスタイル≫グループの≪図形の枠線≫の▼をクリックします。
- ③ 一覧から「黒、テキスト 1、白+基本色 50%」を選択→凡例を囲む枠線が付きます。

選択を解除して確認しましょう。

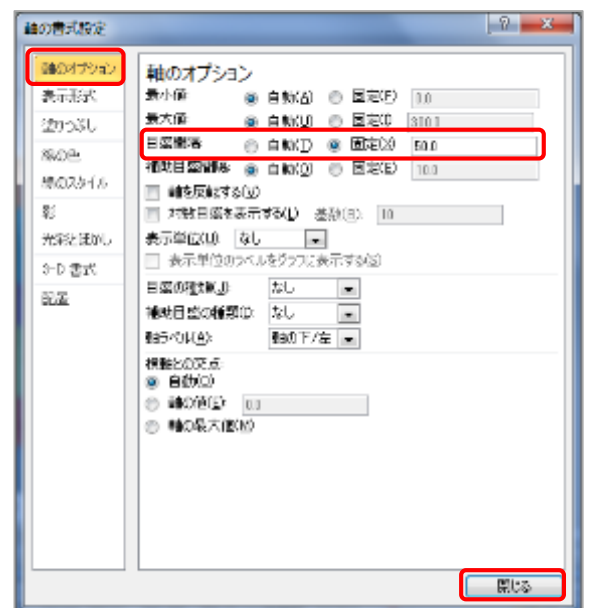
3) 値軸の書式設定 別紙 Excel 2013 対応-p5 参照

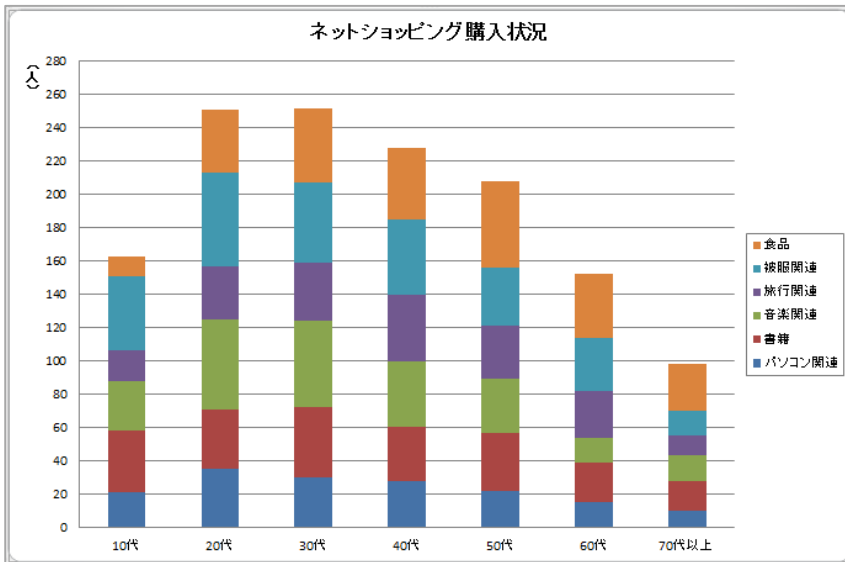
値軸の目盛間隔を 20 単位に変更しましょう。



- ① 縦軸（値）の数値の上を右クリック→≪軸の書式設定≫をクリックします。
- ② ≪軸の書式設定≫ダイアログボックスが表示されます。

- ③ 左側の一覧から≪軸のオプション≫を選択します。
- ④ ≪目盛間隔≫の≪固定≫の○をクリックし「20」と入力→≪閉じる≫をクリック→目盛間隔が 20 単位になります。





※ ファイル名を「2010 資料 C 完成」とし、フォルダ「Excel2010 基礎」の中に保存しましょう。

参考 グラフのスタイル

《デザイン》タブにある《グラフのスタイル》の一覧から、簡単にスタイルを変更することもできます。



【ホームページの紹介】

☆ 暮らしのパソコンいろは（講座予定）

<http://ww41.tiki.ne.jp/~nagao/>

☆ Happy Time（過去の講座）

<http://happytime88.web.fc2.com/>